



JOHANNES  
BRAHMS  
PHILHARMONIKER  
9.KONZERT

ヨハネス・ブラームス・フィルハーモニー 第9回演奏会

R. シュトワース

13管楽器のためのセレナード 変ホ長調  
Serenade No.13 für 13 Blasinstrumente

オーボエ協奏曲 ニ長調

Konzert D-dur für Oboe und kleines Orchester

J. ブラームス

セレナード 第1番 ニ長調  
Serenade No.1 D-dur

指揮: 福田 光太郎  
オーボエ: 古部 賢一

2016. 7. 10 Sun.

13:30 開場 14:00 開演

(開演前にマイクでコンサートを行います)

第一生命ホール

(晴海トリニクススタジアム内)

入場料 1,500円/全席自由

未就学児のご入場はご遠慮ください。

後援 日本ブラームス協会



オーボエ: 古部 賢一

FURUBE, Kenichi

大阪生まれ、東京芸術大学卒業後、ミュンヘン音楽大学大学院にてG.バッシン氏に師事、また、S.ゴールドベルグ氏にも薫陶を受ける。

1991年、小澤征爾率いる新日本フィルハーモニー交響楽団の首席オーボエ奏者に就任、NDR、19ノースキア音楽合奏団を始とした国内外のオーケストラや室内管等にソロistや客席首席奏者としてしばしば招かれている。E.バハ、F.メイエ、西本大造、渡辺内麻子、C.ショルンスハイム等、国内外に演奏者多数、絶大な支持を得ている。

これまでにソロistとして国内外の数多くのオーケストラと共に演奏のほか、ラ・フォル・ジュルネ・音楽祭、宮城国際音楽祭等の音楽祭への出演、リサイタルや室内楽でも活躍している。

近年には音楽指導者としても活動し、また、現代作品においても日本を代表する作曲家 林光のソナタを自ら委嘱・初演した。また、ギタリスト鈴木大介とデュオを組みなど、クラシックにとらわれず多彩な共演者とのコラボレーションも展開している。

札幌大谷大学客員教授、東京音楽大学、相模音楽大学非常勤講師、ソニー国際オーガニック・野井沢、日本音楽コンクール審査員を務めるなど最優秀の指導にもあたっており、2012年にはミュンヘン音楽大学より招かれマスタークラスを行った。

東京芸術大学卒業、東京音楽大学大学院およびウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学にて指揮を専攻。長瀬勇、加納明博、赤澤安雄、山上洋一、豊後大介、ダニエル・マルク、トーマス・グスタフ氏に師事。また下野幸弘、アンジェリス・オカス・ストロウズ、ヨルマック・スラ多氏のマスターコースを受講。すべてのマスターコースにおいて成績優秀者によるコンサートの指揮者に選ばれた。

現在在学中より指揮活動を始め、市民オーケストラなどで指揮者、合唱指揮者として経験を積む。2004年にはフジテレビ主催、ニューヨーク・シティ・オペラ共同制作による「世界平和音楽コンサート」の合唱指揮を務めた。東京芸術大学大学院を中心とした「オフト・ミュージックカンパニー」や東京国際音楽協会(TIAA)のオペラ公演、オーケストラの指揮、また販売市場でも国際音楽連盟(IILA)会長、理事や専任の作品録音の指揮者として認められるなど、多方面で活動している。

これまでにバシス・カ・フィルハーモニー管弦楽団、ルセ・フィルハーモニー管弦楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢など国内外のオーケストラを指揮。平成26年度全日本新鋭音楽指導者賞。



指揮: 福田 光太郎  
FUKUTA, Kotaro

ヨハネス・ブラームス・フィルハーモニー

Johannes Brahms Philharmoniker (ヨハネス・ブラームス・フィルハーモニー、通称JBP) は指揮者・福田光太郎によるTwitterでの呼びかけで発足された、ブラームス・ピアノ協奏曲第1番の試演会に参加したメンバーを中心に結成されたオーケストラです。

実力ある若手ソロistの共演、試演会に集った音楽大学・大学院のオーケストラへの参加、本公演前の試演会の開催等特色としています。

結成のきっかけとなったブラームスの作品を中心に様々な作曲家の作品を取り上げます。

チケットの問い合わせ先 (JBP事務局)  
E-mail info@jbp.jp  
Web http://jbp.jp/  
Facebook 京大フィルハーモニー  
Twitter @jbp\_jp

